

## 生産性向上事例

別記第 11 号の 3 様式（第 12 条関係）

### 事業実績書【生産性向上枠】

#### 1 補助事業の取組内容及び結果

実施した新事業の内容、結果について、具体的に記載していただくとともに、必要な参考資料を添付してください。

例：・手焼きで行っている菓子製造の工程における省人化・省力化を図るため、焼成機を導入した。

・また、焼成機の導入に伴い必要な作業場の改装工事を行った。

工事前後が確認できる図面や写真を添付

焼成機（「ビジネス変革応援補助金」の表示（シール）付）の写真を添付

別記 12 号様式内「★」に関する説明：

交付決定時と金額が変わった項目についてその内容・理由を説明（変更承認済の内容は不要）

例：・焼成機は、交付決定後に価格の改定があり、値上がりしたため、同一機種で購入ではあるものの申請時より増額することとなった。

・作業場改装工事は、当初の計画から焼成機の設置場所を変えたことで、想定していた電気工事が不要となったために減額となった。

#### 2 補助事業の成果及び事業目標の達成度

##### (1) 成果

（売上高や顧客数の変化等のほか、どの程度の省人化・省力化や人手不足の解消等が図られたのかなど、定量的な成果を必ず記入してください）

申請時の事業計画書（5）で設定した目標に対する成果を売上等の定量的な評価も含めて具体的に記載してください。

省人化・省力化の取組を行ったという視点を踏まえた成果を必ず記載してください。  
（機械の導入による必要作業人員の減少、作業時間や経費の削減等）

例：・煎餅の製造工程における作業人員

焼成機導入前の作業人員 ●人

焼成機導入後の作業人員 ●人

→ ●人－●人＝●人の省人化が図られた。

・手の空いた人員で販路開拓の営業活動に注力したところ、新たに●店舗で販売してもらえることとなった。

→ それぞれ●枚／日を配送しており、月●円の売上増につながった。

##### (2) 事業計画書にて設定した事業目標の達成度

（交付申請時に事業計画書（別記第 2 号の 3 様式）の 2 (5) ②に記載した「補助事業の目標」に対する成果・達成度を記載してください。）

上記（1）の成果に対する自己評価・分析を記載してください。（目標を達成した場合は、何が達成に寄与したのか、達成できなかった場合は、その原因と今後の対策等）

例：・焼成機の導入により、菓子製造工程の省人化が実現しただけではなく、新たな販売先の獲得により売上を増やすことができたのは大きな成果と考えている。

・また、これまでは焼き加減について熟年経験者の経験と勘に頼るところが大きかったが、焼成機の導入により誰でも高品質の煎餅を製造することができるため、将来にわたって事業継続可能な環境を整えることができたと思う。

### 3 補助事業の実施経過

年月日	具体的な実施
令和8年6月20日	事前着手届提出
令和8年6月21日 ～6月30日	作業場改装工事実施
令和8年7月1日	焼成機購入（納品）
令和8年7月5日	交付決定
令和8年7月10日	焼成機による菓子製造を開始
令和8年8月10日	全ての支払いが完了

事業の実施は交付決定後から可能となります。ただし、やむを得ない事情により「事前着手届」を提出した場合は、交付決定前であっても事業の実施が可能です。（「事前着手届」を提出した場合であっても、補助金の採択が約束されるわけではありません）。

※ 事業計画書の実施スケジュールに記載した内容等に沿って記入してください。

※ 新たな事業を始めた日は必ず記載してください。

### 4 今後の展開等の方針

#### (1) 2の成果を踏まえて、今後取り組むこと

上記2の成果を踏まえて、事業計画書「(5)①(3)の課題に対する、補助事業により期待される成果、今後の展開等」に記載した内容等について、今後どのように継続して取り組んでいく予定なのかを記載してください。

- 例：
- ・焼成機の性能を踏まえると、1日の製造枚数をさらに増やす余地があることから、引き続き販路開拓の営業に力を入れて、取扱店舗を増やしていく。
  - ・本事業では煎餅を焼く工程の機械化（省人化）に取り組んだが、商品包装をはじめとしたその他の工程についても可能な限り省人化・省力化に向けて見直しを進め、人手不足の中においても事業継続が可能な体制を構築していきたい。

#### (2) 今後の目標・見込み等

今後の目標や売上・集客等の見込みを記載してください。

- 例：
- ・販路開拓に力を入れることで、令和●年度末までに取扱店舗を●店まで増加させる（現在の取扱店舗は●店舗）
  - ・また、新たな販売方法としてEC販売にもチャレンジすることで、売上を●%増加させる。

### 5 売上高の実測値

（単位：千円，%）

事業実施前1か月の売上高 A（令和8年6月分）	実績報告日前1か月の売上高 B（令和8年8月分）	売上高の増加率 $B/A \times 100$
1,200千円	1,250千円	104%

※Aは上記「3 補助事業の実施経過」にて記載した「新たな事業を始めた日」の前月の売上高を記載してください。

Bは実績報告を行う日の前月の売上高を記載してください。

※売上高は事業所全体の数値を記載してください。